

1 3つの会場を巡りながら過ごす5日間

東京国際フォーラム内の3つの会場を巡りながら、多彩なプログラムをお楽しみいただけます。

ホールB5 聴く・考える「カンファレンス」 ★要事前申込み

【会期】10月30日（金曜日）～11月1日（日曜日）

Zoomによるライブ配信あり

各界を代表するアーティスト、実践者、研究者など多彩な登壇者をお招きし、5つのセッションにて参加者とともにウェルビーイングを捉え直します。

ホールD5 参加する・語り合う・体感する「スタジオ（ネットワーキング）」

★要事前申込み

【会期】10月30日（金曜日）～11月1日（日曜日）

トーク、パフォーマンス、ワークショップ等を通じて、参加者と登壇者が交流しながらテーマについて考えます。

【注目プログラム】

「TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム(※)」として制作・上演された舞台『黙るな 動け 呼吸しろ』と舞台『TRAIN TRAIN TRAIN』。協働のプロセスで直面した困難と発見や、創作から約一年が経った今、それぞれの活動の中で生まれた実践と新たな問いを共有します。

※世界陸上・デフリンピックの開催年に展開した、東京2020大会の文化プログラムのレガシーを継承・発展させた取組

◆オープンミーティング ろう者と聴者の遭遇、そこから生まれたもの

日時：10月30日（金曜日）第1部 12:00～15:00、第2部 16:00～17:30

登壇者：長島確、牧原依里、松崎丈ほか『黙るな 動け 呼吸しろ』創作メンバー

第1部 身体と空間と表現

演劇の空間演出を、劇場内のみならず都市空間にまで拡張するセノグラフィの視点を共有し、ろう者と聴者の身体性の違いを前提としたこれからの劇場のあり方や、舞台芸術におけるろう者の人材育成について考えます。

第2部 ろう者の「オンガク」

聴覚で認識する音楽とは異なる、ろうコミュニティから生まれる「オンガク」の概念や世界観を共有し、『黙るな 動け 呼吸しろ』の公演制作を経て深まったその探求の成果を話し合います。



◆舞台『TRAIN TRAIN TRAIN』映像上映&トーク

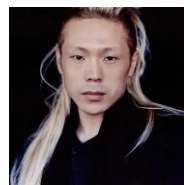
日時：11月1日（日曜日）10:00～12:30

登壇者：栗栖良依、森山開次

舞台『TRAIN TRAIN TRAIN』の定点収録映像（高画質記録）を上映し、アクセシビリティディレクションと演出・振付を担った二人が、創作の舞台裏と作品の魅力を語ります。



栗栖良依
アートプロデューサー



森山開次
ダンサー、振付家、演出家

撮影：
Ishizuka Sadato

1 3つの会場を巡りながら過ごす5日間

東京国際フォーラム内の3つの会場を巡りながら、多彩なプログラムをお楽しみいただけます。

ロビーギャラリー 観る・感じる・手がかりをつかむ「ギャラリー（展示）」

【会期】10月28日（水曜日）15:00～21:00

10月29日（木曜日）・30日（金曜日）・31日（土曜日）11:00～21:00

11月1日（日曜日）11:00～15:00

アーティストが生み出す作品が鑑賞者にもたらすイメージの力を借りながら、言葉とは違ったアプローチで本会議の主要なテーマを探るギャラリー（展示）コーナーです。あわせて、都立文化施設等の取組なども紹介します。展示の関連トークやワークショップも行います。

【注目作品】



クレジット：Ladies Rockー「女たちが最高」3人ならパーティ、12人ならディスコ

◆『わたしはなれる』サンギータ・ジョギ、タラブックス

ペンで描かれた原画が、デザイナーやカラリスト、製本職人などの手仕事を経て、色鮮やかな一冊に結実するまでのバトンリレー。そこから生まれたシルクスクリーン画や絵本を展示します。

◆『へびと地層』瀬尾夏美

令和元年東日本台風で被災した宮城県丸森町で、住民とのやりとりと伝承民話のリサーチから生まれた「やまのおおじゃくぬけ」を中心に、各地の災害や戦争の記憶継承を担う表現のあり方や、対話の可能性を考える作品群を展示します。



【VR体験・関連トーク】

★トークのみ要事前申込み

◆VR体験『もしもディスレクシアの小学生なら』

10月29日（木曜日）～31日（土曜日）13:00～18:00／

11月1日（日曜日）13:00～15:00

読み書きに困難のある学習障害「ディスレクシア」の当事者が直面している状況を、小学校の教室を舞台にしたVR映像で疑似体験することができます。

※VRはディスレクシアの見え方を再現するものではありません。

◆トーク「もしもディスレクシアの小学生なら」

10月29日（木曜日）17:00～18:00

◆トーク「興望館セツルメントから考えるウェルビーイングとアート」

10月28日（水曜日）16:00～17:00

墨田区にある福祉施設「興望館」における「セツルメント運動」の今日的な意味や、アートとの接点を語ります。



画像：『共に在るところから／With People, Not For People』で制作されたタペストリーの一部
撮影：加藤 南

2 2つの巡り方をご紹介します！

本会議のテーマ「Moving Together とともに生きる文化」を考えるための、おすすめの巡り方を2つご紹介します。

巡り方① だれもが文化でつながる未来をひらく

誰もが参加し、表現し、楽しめる芸術文化の場や社会のあり方を考えます。

スタジオ（ネットワーキング）

- ・舞台『TRAIN TRAIN TRAIN』映像上映&トーク
11月1日（日曜日）10:00～12:30

カンファレンス

- ・クロージングセッション「クリエイティブ・ウェルビーイング とともに生きる文化」
11月1日（日曜日）15:30～18:00

ギャラリー（展示） 展示会期中、常時観覧可能

- ・クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョーの歩み
- ・都立文化施設等の取組
- ・『時の蘇生・柿の木プロジェクト』『時の海—東北プロジェクト』宮島達男



『時の蘇生・柿の木プロジェクト』は、「被爆柿の木2世」の苗木を植樹し、世界中のこどもたちに命と平和への願いを手渡してきた30年にわたるプロジェクト。異なる地域や宗教、人種や言葉を超えたこの活動を、とともに生きる文化（クリエイティブ・ウェルビーイング）の視点で捉えます。あわせて、『時の海—東北プロジェクト』についても紹介します。

巡り方② 未来へ手渡す ～夢・記憶・表現～

作品や言葉を通じて、経験や想像力が他者や未来へつながる過程を考えます。

スタジオ（ネットワーキング）

- ・ワークショップ
「わたしの『わたしはなれる』の旗をつくる」
10月31日（土曜日）13:00～15:00

書影：サンギータ・ジョギ『わたしはなれる』（green seed books, 2025年）



カンファレンス

- ・セッション3「Moving Together 夢とともに生きる」
11月1日（日曜日）10:00～12:00

<ワークショップで制作した旗を展示します>

ギャラリー（展示） 展示会期中、常時観覧可能（トークを除く）

- ・『わたしはなれる』サンギータ・ジョギ、タラブックス
- ・『時の蘇生・柿の木プロジェクト』『時の海—東北プロジェクト』宮島達男
- ・『共に在るところから／With People, Not For People』青木 彬、碓井ゆい
- ・トーク「興望館セツルメントから考えるウェルビーイングとアート」
10月28日（水曜日）16:00～17:00

プログラムの参加申込や詳細については、**公式ウェブサイト**から
URL : <https://creativewell.rekibun.or.jp/creativewell-conference/2026.html>



だれもが文化でつながるプロジェクト

クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョーについて

芸術文化の力や都立文化施設の資源を活用し、高齢者、障害者、外国人、乳幼児等を対象者に「アクセシビリティ向上」と「鑑賞・創作・発表機会の拡大」に取り組むプロジェクト。都立文化施設の情報アクセシビリティ環境を整備し、障害や年齢等を問わずあらゆる人が芸術文化を享受できるプログラムを実施しています。